

清新ふたば小教員スタンダード

このスタンダードは、若手教員から中堅、ベテラン教員までが一貫した指導を行い、いつ、だれが、どの学年・学級をもったとしても児童に指導が行き届くように、ふたば小の教員の共通理解・共通行動を図るために作成したものである。

学習指導

児童への指導	①	学習前の準備、学習用具の徹底	休み時間のうちに、机の整頓や授業に必要な学習道具(教科書・ノート・下敷き・筆箱)を机上にそろえることを指導する。 ※コロナ禍に関わらず、トラブル防止のため、忘れものがあったても児童間での教材・教具の貸し借りは禁止とする。
	②	始業と終業のけじめの徹底	チャイム後すぐに良い姿勢をつくり、全員がそろった状態で、「よろしくお願いします。」「ありがとうございました。」と号令ができるよう指導する。
	③	離席時の約束の徹底	授業中の指示のない離席は安易に認めず、担任や専科教員へ必ず理由を伝えるよう指導する。
	④	聴く姿勢の徹底	話をする人に体を向け、顔を見て、途中で話さずに最後まで聞くように指導する。
	⑤	ノート指導の徹底	丁寧に正しく字を書く、下敷きを敷く、線を引くときは原則定規を使うことなどを指導する。
	⑥	話し方の徹底	発言や発表では、「～です。」「～と思います。」など丁寧な言葉で語尾まではっきりと話し、できない場合には言い直すよう指導する。
教師としての心構え	⑦	週案づくり	週の計画を立てて授業に臨む。月曜の朝までに週案を副校長に提出する。
	⑧	時間の厳守	1単位45分間の授業時間を守る。遅れずに始め、伸ばさずに終える。
	⑨	授業内での発言	教師の発言は、吟味・厳選し、児童の発言時間を上回らない。 (“1回の発言”で“1つの指示”＝“単指示”)
	⑩	板書の約束	全学年共通で、めあては「赤」、まとめは「青」で囲む。
	⑪	環境整美①	黒板は全面が使えるように整美する。テレビ等で児童の視界を遮らない。
	⑫	環境整美②	教室前面の黒板上部や側面には、児童が学習に集中できるよう学校教育目標以外は掲示せず、余白にする。(ユニバーサルデザイン)
	⑬	環境整美③	床にごみが落ちていない。
	⑭	環境整美④	児童ロッカー・教師用机が整美されている。

生活指導

①	呼名	男女に関わらず、苗字に「さん付け」で呼ぶ。※児童の実態に合わせて臨機応変に。
②	あいさつ	教員から率先してあいさつを行う。
③	1日の始まり	朝、担任は児童を教室で迎え、日直は門や玄関で迎える。※コロナ禍は変更あり。
④	中休み・昼休み	学年で校庭や校内を巡視し、雨天時などは必要に応じて放送を入れる。

⑤	清掃	話さず静かに掃除に取り組ませる。
⑥	教室移動	整列して静かに移動することを指導する。また、欠席・遅刻等の児童の引継ぎは、緊急時に備えて教員間で確実に行う。
⑦	指導の徹底	問題行動を見つけたときは、自分のクラス・学年に関わらず、指導を行う。
⑧	報・連・相	けがや病気、トラブルが発生したときは、保護者へ必ず連絡を入れ、管理職にも伝える。首から上のけがの場合は、至急管理職に報告する。
⑨	危険な行為への対応	児童の危険な行為は、全力で阻止し安全確保を行い、適切な指導をする。 ※何がいけなかったのか、どう行動すべきであったかを考えることができるようにする。